

安全データシート

作成日 2020年 11月 11日

改訂日 2023年 2月 28日

1. 製品および会社情報

製品名	アルザウバー ハンドクリーンハンドジェル アルコールタイプ
品番	AL-011
コード	31-414
会社名	プラス株式会社
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12階
担当部門	CSR本部 品質保証部
緊急連絡電話番号	03-5860-8005
FAX番号	03-5860-8013
E-Mail	env_psc@plus.co.jp
整理番号	G05B2830
推奨用途及び 使用上の制限	手指の清浄化用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
可燃性エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分2
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分に該当しない
酸化性固体	: 区分に該当しない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性物質	: 区分に該当しない
鈍性化爆発物	: 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない
急性毒性（経皮）	: 区分に該当しない
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	: 区分に該当しない

急性毒性（吸入：粉じん）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2A
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分 1A
生殖毒性	: 区分 1A
特定標的臓器（単回ばく露）	: 区分 3（麻酔作用、気道刺激性）
特定標的臓器（反復ばく露）	: 区分 1（肝臓）、区分 2（中枢神経系）
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分に該当しない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- 引火性の高い液体及び蒸気
- 強い眼刺激
- 発がん性のおそれ
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 眠気又はめまいのおそれ
- 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害
- 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 熱、火花、裸火、高温のような着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 防爆型の機器を使用すること。（照明機器、換気装置等）

- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防装置を講ずること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
- 取扱い後はよく眼を洗うこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急処置】

- 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時は医師の手当て、診断を受けること。

【保管】

- 容器を密閉すること。
- 換気の良い場所で保管すること。
- 涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法)
エタノール	64-17-5	<60	(2)-202
グリセリン	56-81-5	<1	(2)-242
ジイソプロパノールアミン	110-97-4	<1	(2)-309
カルボキシビニルポリマー	9003-01-4	<1	(6)-898
アラントイン	97-59-6	<1	(9)-199
塩化ベンザルコニウム	61789-71-7	≤0.05	(3)-2694
ローズマリー精油	非開示	<1	非開示
ラベンダー精油	非開示	<1	非開示
水	7732-18-5	<40	-

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 発赤、はれ、灼熱感があらわれた場合、直ちに水で洗い流すこと。 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
予想される急性症状及び遅発性症状	: データなし
最も重要な兆候及び症状	: データなし
応急措置をする者の保護	: 救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項	: データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 大量の水を放水する。水がない時は二酸化炭素、粉末消火剤あるいは土を用いる。
使ってはならない消火剤	: データなし
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 消火水や希釈水は有毒及び/又は腐食性があり汚染を引き起こすおそれがある。 燃焼の際に発生する有毒な煙、蒸気又はガス：一酸化炭素、窒素酸化物 (NOx)
特有の消火方法	: ガスの滞留しない場所で風土より消化し、漏洩防止処置を施す。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	: 関係者以外は近づけない。 漏洩場所を換気する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」）の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	: 環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。
回収・中和	: データなし
封じ込め及び浄化方法・機材	: 危険でなければ漏れを止める。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策	: 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項 : 換気の良い場所で取扱うこと。

眼又は衣類に付けないこと。

取扱い後はよくうがいをする。

火気注意。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策 : 特別に技術的対策は必要としない。

保管条件 : 「10. 安定性及び反応性」を参照

保管温度 : 2~40℃

保管湿度 : 45~85%

日光から遮断すること。

容器を密閉して保管すること。

凍結厳禁。

容器包装材料 : 密閉可能な容器

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値、 : 日本産衛学会（2007年版）：

生物学的ばく露指標） ACGIH（2007年版）

STEL 1000ppm TWA（エタノール100wt%として）

10mg/m³ TWA（グリセリンミストとして）

設備対策 : 換気をしながらご使用ください。

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

保護具

呼吸用保護具 : 換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 : 保護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 液体

色 : 無色透明～微白濁

臭い : アルコール臭および香料由来臭

融点／凝固点 : データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び上限界、 可燃限界	: データなし
引火点	: 22°C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 6.0~9.0
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール、 水分分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 0.90~0.97
相対ガス密度 (空気=1)	: データなし
粒子特性	: データなし
その他の情報	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性なし。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 反応性なし。
避けるべき条件	: 溶剤の蒸気は空気よりも重く、地面あるいは床に沿って移動することがあり、 遠距離引火の可能性がある。
混触危険物質	: 酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触を避ける。
危険有害な分解生成物	: 燃焼などにより一酸化炭素等の有害ガスを発生するおそれ。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 混合物の急性毒性推定値 >5000mg/kg
急性毒性 (経皮)	: 混合物の急性毒性推定値 >5000mg/kg
急性毒性 (吸入: ガス)	: データなし
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 混合物の急性毒性推定値 >20mg/L
急性毒性 (吸入: 粉じん)	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 混合物の成分濃度の合計が濃度限界以下のため区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷・ 刺激性	: エタノール・ウサギに4時間ばく露した試験 (OECD TG404) の評価は中程度の 刺激性 (区分 2B) である。 よりリスクの高い細分類を選択し区分 2A とした。
呼吸器感作性	: データなしのため、呼吸器感作性-分類できないとした。
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 混合物の成分の発がん性-区分 1A の濃度がカットオフ値以上のため 区分 1A とした。

生殖毒性	: 混合物の成分の生殖毒性-区分 1A の濃度がカットオフ値以上のため 区分 1A とした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 混合物の成分の特定標的臓器毒性 (単回ばく露) -区分 3 (麻酔作用) の濃度が 20wt%以上のため区分 3 (麻酔作用) とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性 (単回ばく露) -区分 3 (気道刺激性) の 濃度が 20wt%以上のため区分 3 (気道刺激性) とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 混合物の成分の特定標的臓器毒性 (反復ばく露) -区分 1 (肝臓) の濃度が 10wt%以上のため区分 1 (肝臓) とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性 (反復ばく露) -区分 2 (中枢神経系) の 濃度が 10wt%以上のため-区分 2 (中枢神経系) とした。
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
水生環境有害性 短期 (急性)	: 混合物の成分濃度の合計が濃度限界以下のため区分に該当しないとした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 混合物の成分濃度の合計が濃度限界以下のため区分に該当しないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する 法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理又は 回収に回す。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	: IMO の規定に従う。
航空規制情報	: ICAO/IATA の規定に従う。
UN No.	: 1987 (アルコール類他に品名が表示されていないもの)
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれの 該当法規に定められている運送方法に従う。

海上規制情報	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空規制情報	: 航空法に定められている運送方法に従う。
特別安全対策	: 「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。 容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。
緊急時応急措置指針番号	: 127

15. 適用法令

消防法	: 非危険物
毒劇法	: 非該当
労働安全衛生法	
特化則	: 非該当
有機則	: 非該当
表示物質	: エタノール（引火性のもの）
通知物質	: エタノール（引火性のもの）
化学物質排出把握管理促進法 （PRTR 法）	: 非該当
薬機法	: 該当（化粧品）

16. その他の情報

記載内容は安全にご使用頂く為の情報提供であって、保証するものではありません。

また、注意事項は通常の取扱を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。